

# かしわ もり 柏葉の杜

学校だより NO. 29  
平成30年10月1日  
八頭町立八東小学校  
電話71-0108 FAX71-0107

## ○「やりぬく子」を思う ～ 先の見通せない時代に生きる子供たちに必要な力 ～

校長 谷口 道行

台風24号が八頭町には、幸いなことに大きな被害も無くなんとか通過しました。また、被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。しかし、ホッとするまもなく、大型の台風25号が発生しました。今週末、再び24号と同じようなコースで、日本列島に接近する可能性もあります。今度の3連休の天候が心配されます。台風にしても、今年の猛暑にしても、これまでに無いような状況が続いています。まさに**想定外の時代の到来**の感がします。(しかし、やがてはこれを、「想定内」と捉えて対応する必要があります。)  
今週から10月。いよいよ本年度の折り返しです。

さて、先日から読んできた本の中で、共通する言葉に、「ねばり強く」とか「やりぬく」という言葉が良く出ています。昔から、よく使われていて陳腐な使い古された言葉です。しかし、その意味はますます重要になってきています。

最近読んだ本に、東大教授・理論物理学者・上田正仁先生の「東大物理学者が考える『考える力』の鍛え方 ～想定外の時代を生き抜くために～」という本があります。その本の中で、ある方の言葉が紹介されています。

“ **It's not that I'm so smart ; it's just that I stay with problems longer.** ”

= 「わたしはすごく頭が良いわけではなく、ただ、人よりも長い時間、問題と向き合っているだけだ。」 という意味です。

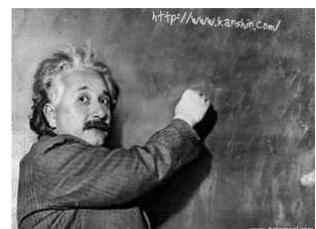
この言葉は、「相対性理論」を創り、現代の科学の基礎となる理論を創った**物理学者のアインシュタイン博士**の言葉です。この言葉は、決して彼が謙遜で言っているわけではありません。彼の研究人生のはじめは、苦難の連続でした。彼が世間に認められたのは、大学で研究をしていたときではなく、大学に残ることができず、就活で苦労し、ようやく友人の力で特許局に勤めていた1905年に、「特殊相対性理論」を初めとした5つの論文を発表した時だったのです。彼の研究は、決して、順風満帆ではなかったのです。

つまり、**アインシュタイン博士の言葉を借りれば、大切なことは、問題と長く向き合い続ける「考える力」であり、「諦めない人間力」です。本校のめざす子ども像の「やりぬく子」**は、まさに、**これからの時代に生きる力、これからの時代につながる力**だと思います。

これからの時代は、**想定外の状況が頻出します。マニュアルだけでは乗り切れない時代です。新しい社会の状況に対応するためには、粘り強く諦めないで「考える力」「考え抜く力」を持ち、人々と対話しながら「創造する力」が、ますます必要です。**

また、最近注目されている力ということで、以前、PTA 総会のプレゼンの中でも紹介しましたが、「**GRIT**」(グリット)という言葉があります。意味は、「**困難にあってもくじけない闘志・気概・気骨**」=「**やりぬく力**」です。ペンシルバニア大学の心理学教授・アンジェラ・ダックワース氏が提唱した言葉です。**度胸 (Guts)、復元力 (Resilience)、自発性 (Initiative)、固執・不屈 (Tenacity)**の、頭文字をとって、「**GRIT**」です。生まれ持った**才能や知能 (IQ・知能指数)**よりも、**人々の成功に寄与するものと認められています**。成功者の多くに共通の心理特性として注目されています。中でも個人的に大切な力と思うのが、この中の「**復元力・回復力 (レジリエンス)**」です。日本語で簡単に言えば、「**打たれ強さ**」、言い換えれば「**めげない・くじけない・へこたれない力**」です。学校という温室から、社会に出て行けば、まさに「**復元力**」が、必要です。「**やりぬく力**」と「**やりぬく子**」です。

この2学期、子供たちが、元気で最後まで粘り、強く様々なことに挑戦してくれることを期待しています。いよいよ、本年度も後半戦。折り返しを迎えました。6年生は、小学校生活もあと半年となりました。



# おめでとうございます 八頭郡小学校陸上大会 (八頭高) 9月26日

5男100m	第3位	佐藤	パトリック
5男800m	第5位	藤田	大獅
5男走幅跳	第6位	橋本	侑弥
5男走高跳	第3位	大村	宗磨
5男ボール投げ	第6位	山本	祐瑛
6男100m	第3位	木原	駿
	第4位	清水	勇斗
6男800m	第4位	竹内	優貴
	第5位	道端	晴也
6男ボール投げ	第2位	山本	慶
5男400mリレー	第2位	(山本・佐藤・八田・青木)	
6男400mリレー	第3位	(道端・清水・竹内・木原)	

5女600m	第1位	藤原	愛
5女走幅跳	第4位	林田	彩乃
5女走高跳	第4位	飯田	愛和
6女100m	第5位	増田	夢月
6女600m	第5位	都橋	瑞華
6女走幅跳	第5位	坂本	千代子
6女走高跳	第2位	横野	佳奈
6女ボール投げ	第3位	小林	楓
	第4位	安住	遥香
5女400mリレー	第4位	(藤田・飯田・藤原・川西)	
6女400mリレー	第2位	(川西・増田・都橋・安住)	

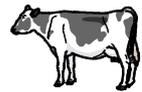
## 9月ノートチャンピオン

1年	上田	湊人
2年	保木本	幸愛
3年	小椋	紗奈
4年	西田	佳夏
5年	大村	宗磨
6年	坂本	千代子
6年	片山	陽南子

## 家畜の絵コンクール

優秀賞 1年 山本 洵

優良賞 1年 木原 愛翔



## 4年 八東川の水はきれい?

先日、4年生は「八東川清流クラブ」の皆さんにお世話になりながら、八東川の水質調査に出かけました。

水温が下がりはじめていますので心配していましたが、石の裏などに「カワゲラ」「トビゲラ」「ヘビトンボ」「カワニナ」「ヨシノボリ」などの生物を見つけることができました。調べてみると「きれいな水」「ややきれいな水」に住む生き物たちでした。

また「PH」(水素イオン濃度)「COD」(化学的酸素要求量)「NO<sub>2</sub>」(亜硝酸イオン)「PO<sub>4</sub>」(りん酸イオン)なども測りました。結果は、「COD」の値が高く、少し水が汚れているという結果でした。生活排水が入っているのではないかとということです。

以前は、今よりごみが多くあり、生活排水も流れ込んでいたため、水質は悪かったようですが、今は下水処理も進み以前に比べかなり良くなってきたということです。

自分たちのふるさとのことをよく知り、どうしていくことが良いのか、更に学習していきます。



## 捕まえた水生生物